

後期教養演習とは？

3.4 年生のみが履修可能な教養科目が、後期教養科目と後期教養演習で、後者は演習形式で行われるものです。1.2 年生で各自の関心や専攻カリキュラムに基づいて、大学生としてすでに一定程度の学びをしてきた様々な学生たちが授業に参加することによって、あるテーマの下で多様な発想や意見を交換したり、ある学問を入門レベルよりもさらに深く考える機会を提供することが目指されています。

【2023 年開講科目一覧】

- ◇ 国際関係
- ◇ ダイバーシティと多文化共生
- ◇ ミュージアムと社会（1）
- ◇ ミュージアムと社会（2）
- ◇ 音楽
- ◇ 舞台芸術
- ◇ スポーツライティング
- ◇ 人文知の饗宴
- ◇ グローバル社会とスポーツ

【2024 年開講科目一覧】

- ◇ 国際関係
- ◇ ダイバーシティと多文化共生
- ◇ ミュージアムと社会（1）
- ◇ ミュージアムと社会（2）
- ◇ 音楽
- ◇ 舞台芸術
- ◇ 心理学
- ◇ 人間礼賛
- ◇ アジアの社会と文化

後期教養演習(グローバル社会とスポーツ)

「グローバル社会とスポーツ」は、後期教養科目の中の演習科目の1つです。ますますグローバル化が進む日本国内外の社会における「スポーツ」関連の多様なテーマを取り上げ、複数の教員による話題提供（レクチャー）とグループワークを交互に取り入れながら、共に考え、共に語り、共に学んでいきます。

【目的】

- (1) 国内外における社会・文化的背景と文脈を踏まえ、複眼的視座から「スポーツ」に関する言説を捉えなおすこと。
- (2) 複数の教員による話題提供とグループワークを交互に取り入れることで、対話的で主体的な学びを志向すること。

【2022 年度授業内容】

- 第1回 科目オリエンテーション
- 第2回 スポーツツーリズム
- 第3回 スポーツルール考
- 第4回 IOCの難民選手団
- 第5回 FIFAと人権・人種差別
- 第6回 スポーツを通じた国際交流の可能性
- 第7回 グローバルスポーツ・サッカーの可能性と課題
- 第8回 アメリカの社会とスポーツ（1）映画編
- 第9回 アメリカの社会とスポーツ（2）ミュージアム編
- 第10回 スポーツを通じた国際協力
- 第11回 スポーツ・メガイベントの社会的影響
- 第12回 アスリートの言語習得問題
- 第13回 アスリートの社会参画と言語
- 第14回 総括と振り返り



▲キルギス共和国のスポーツと生活に関するグループディスカッション



▲ZOOMでキルギス共和国とつなぎ、現地のスポーツや生活についての話を聞く様子

後期教養演習(音楽)

扱うテーマや内容は年により変わりますが、2023 年度は、旧ソビエト社会主義共和国連邦の構成国であった国々の音楽を中心に食文化と歴史の Research を行いました。日本以外の国の文化を知ること、特に社会主義であった（現在も社会主義の国も含む）国の内情を知ること、日本の立場を新たな視点で見つめることが可能となることを本科目の目的としています。第 14 回目には各グループの担当国について、その国ならではのメロディやリズムの実演も交えてのプレゼンテーションを行いました。

中央大学文学部

後期教養演習 (音楽)



なかなか訪れる機会がない中央アジアや
コーカサスの国々。伝統音楽の実演付き
プレゼンで旅行気分を味わいませんか？



日時：2024 年 1 月 16 日 (火) 2 限目
場所：多摩キャンパス3号館 3114 教室

事前申し込みは不要です
どなたでも自由にお入り頂けます